

科目名	看護政策論 Health Care Policy in Nursing		科目区分	共通	単位数	2単位
教員名	阿部恵子, 鈴木正子, 窪田和巳, 深堀浩樹, 藤野泰平		必修・選択	選択	開講年次	第2学年
					開講学期	前学期
科目概要	本科目では、わが国における看護政策・医療政策の形成過程及び近年の主要な政策動向を概説する。また、演習や有識者へのプレゼンテーション等を通じて看護政策・医療政策の課題解決の過程を体験的に理解する。最終的には、将来の看護医療分野において、政策の視点も含め看護専門職として自身が貢献できることを考察する。					
目標	1 わが国の看護政策の形成過程を理解する。 2 看護・医療に関連する課題を見出し、解決策を提示できる能力を養う。 3 今後のわが国の看護・医療政策に対して、自身が看護専門職として貢献できる内容を各自の立場に応じて考察できる。					
内 容	1	2019. 6. 1 (土) 1～4	看護政策・医療政策における主要な概念	看護政策・医療政策における主要な概念(看護政策や医療政策に関連する団体や組織, 看護に関する重要な法改正等について概説する。)	阿部恵子 深堀浩樹	
	2		看護における研究の社会・政策担当者への発信	看護における研究の社会・政策担当者への発信(看護学領域における研究の社会や政策担当者への発信について、過去の事例を紹介し、今後のあり方を検討する。)	深堀浩樹	
	3		看護政策過程演習	看護政策過程演習①・②: 課題の抽出・明確化(受講者が関心を持っており社会的にも解決が求められる看護・医療政策に関連した課題を抽出し、受講者間の議論により課題の内容を明確化する。)	深堀浩樹	
	4					
	5	2019. 6. 16(日) 1～4	近年の看護政策・医療政策の動向	近年の看護政策・医療政策の動向(税と社会保障の一体改革, 医療介護の一括法案, 近年の診療報酬・介護報酬改定の要点等を概説する。)	窪田和巳	
	6		政策を動かす方策	政策を動かす方策(問題解決思考及びプレゼンテーション技法について概説する。)	窪田和巳	
	7		看護政策過程演習	看護政策過程演習③・④: 課題の関連資料や研究の提示・解決策の検討(演習①・②で抽出・明確化した課題の関連資料を各受講生が検索・紹介し受講生及び講師と共有する。それらの資料に基づいて、課題の解決策を受講生間の議論により検討する。)	窪田和巳	
	8					
	9	2019. 7. 6 (土) 1～4	看護職・職能団体の役割と課題	看護職・職能団体の役割と課題(日本看護協会や日本看護連盟など, 看護に係る諸団体のこれまでの活動, 及び今後の課題を概説する。)	阿部恵子 藤野泰平	
	10		政策につながる看護実践と看護研究	政策につながる看護実践と看護研究(国内外の看護研究, 看護実践が政策に影響を及ぼした事例をもとに, 政策につながる看護実践と看護研究に各自がどのように寄与できるかを講師及び受講者間で討議する。)	藤野泰平	
	11		看護政策過程演習	看護政策過程演習⑤・⑥: 解決策の洗練・プレゼンテーションの作成・リハーサル(演習①～④の内容に基づき, 受講生が抽出・明確化した課題に対する提言や要望を文書及びプレゼンテーション資料の形でまとめる。それらの内容に基づいた発表の準備を行う。)	窪田和巳	
	12					
	13	2019. 7. 21(日) 1～3	看護政策過程演習	看護政策過程演習⑦: プレゼンテーション及びディスカッション(演習⑤・⑥で作成したプレゼンテーションを愛知県看護協会長に発表し, 講評してもらう。さらに愛知県看護協会長と受講生間でディスカッションを行う。)	窪田和巳 深堀浩樹 鈴木正子	
	14					
	15					
学修方法	1 コマあたり, 90分以上の事前・事後の学修が必要になる。 2 授業で使用する参考図書や資料を十分に読み込み, 積極的に授業に臨むこと。 3 授業内容への質問に対してフィードバックを行う。					
評価方法	授業への参加及び学修状況(60%), 課題学修の内容(資料・プレゼンテーション)(20%), 課題レポート(20%)で評価する。					

教科書 ・参考書	参考書： 1 東京大学医療政策人材養成講座編：「医療政策入門」，医学書院 2 池上直己：「ベーシック 医療問題」，日経文庫 3 見藤隆子，石田昌宏，大串正樹，北浦暁子，伊勢田暁子：「看護職者のための政策過程入門」，日本看護協会出版会
履修上の 注意点	1 当該科目の出席日数が3分の2以上満たしている場合に評価を行う。 2 看護政策過程演習の進行に際して不明な点があれば随時教員(深堀・窪田・藤野)がe-mailで対応する。